

向精神薬とは

中枢神経に作用して、精神機能に影響を及ぼす物質（医薬品としては抗不安薬、催眠鎮静薬、鎮痛薬等が該当します。）であって、麻薬及び向精神薬取締法（以下「法」という。）及び政令で定めるものをいいます。平成22年1月現在、80物質が向精神薬として指定されています（該当品目は78ページから89ページまでを参照）。

向精神薬は、その乱用の危険性及び医療上の有用性の程度により第一種から第三種までの3種類に分類され、それぞれ規制内容が異なります。

なお、対象品目は、その容器及び直接の被包に「**向**」の表示があります。

～ 向精神薬盗難等事故について～

近年、向精神薬取扱者からの向精神薬事故届数が増加しており、中でも盗難と詐取が増加傾向にあります。

盗難の主な手口は、次のとおりです。

- ・ 夜間、無人の診療所等のドアや窓を破壊したり、かぎをこじ開けたりして盗取する。
- ・ 無人の調剤室等に侵入して盗取する。
- ・ 保管設備（ロッカー等）のかぎを壊して盗取する。
- ・ 医療機関内部の職員又は内部の事情に詳しい者が持ち出す。

また、詐取については、病院・診療所で交付された処方せんを変造・偽造して複数の薬局に持ち込み、向精神薬をだまし取るケースがあります。これらは薬物乱用の疑いが強いものであり、具体的な手口としては、

- ・ 交付された処方せんの記載事項（用法用量、日付など）を書き換える。
- ・ 交付された処方せんをカラーコピーする。
- ・ 診療所等から盗取した未記載の処方せん用紙に日付、処方等を書き込む。

などがあります。

これらの事故に遭った場合は、速やかに管轄の保健所に事故届を提出するとともに最寄りの警察署に通報し、薬剤師会等へも情報提供を行ってください。

また、向精神薬や処方せんの保管等に日ごろから十分注意するなど適切な管理を行うようにしてください。

Q1 偽造向精神薬処方せんに基づき向精神薬を交付した場合は、事故届の対象となりますか。

A1 向精神薬事故届の対象となります。

平成22年8月22日付け薬発852号薬務局長通知により、盗難、強奪、脅取及び詐欺であることが明らかな場合は、麻向法施行規則第41条第1項に規定する数量以下であっても届け出てください。

向精神薬を取り扱う場合の注意事項

1 譲受（法第50条の16）

向精神薬は、免許を受けた向精神薬卸売業者（薬局開設者及び医薬品卸売販売業者）から譲り受けてください。

また、次の場合にも譲り受けることができます。

- (1) 同一法人の他の病院・診療所から譲り受ける場合（左記以外の場合は、各病院、診療所間の向精神薬の貸し借りもできません。）
- (2) 患者に交付したものの返却を受ける場合
- (3) 臨床試験に用いる治験薬を、登録を受けた向精神薬試験研究施設から譲り受ける場合

2 譲渡（法第50条の16）

向精神薬の譲渡は原則として患者に交付する場合には限られます。

ただし、次の場合は譲り渡すことができます。

- (1) 向精神薬卸売業者に返品する場合
- (2) 同一法人の他の病院・診療所に譲り渡す場合
- (3) 治験薬を向精神薬試験研究施設又はその施設と同一法人の向精神薬卸売業者に戻す場合

3 保管（法第50条の21）

譲り受けた向精神薬は、次のように保管しなければなりません。

- (1) 病院・診療所・薬局の施設内に保管すること。
- (2) 保管は、盗難防止の注意が十分払われている場合を除き、かぎをかけた設備内で行うこと。

【具体例】

調剤室や薬品倉庫に保管する場合

夜間、休日等で保管場所に注意を払う者がいないときは、その出入口にかぎをかけること。

日中、医療従事者が必要な注意をしている場合以外は、出入口にかぎをかけること。

ロッカーや引き出しに入れて保管する場合

夜間、休日等で保管場所に注意を払う者がいないときは、ロッカーや引き出し、あるいはその部屋の出入口にかぎをかけること。

病棟のナースステーションに保管する場合

常時看護師等が必要な注意をしている場合以外は、向精神薬を保管するロッカーや引き出しにかぎをかけること。

4 廃棄（法第50条の21）

向精神薬を廃棄するときは、焼却、酸・アルカリ等による分解、希釈等、回収が困難な方法によらなければなりません。

なお、届出の必要はありません。

5 事故の届出（法第50条の22）

次の数量以上の盗難、紛失等が判明したときは、向精神薬事故届（別紙）により、速やかに宮崎県知事に届け出なければなりません。

ただし、盗難、強奪、脅取又は詐欺であることが明らかな場合には、これらの数量未満でも届け出てください。

提出書類：向精神薬事故届（p90）・・・・・・・・・・・・・・・・・・2部

届出先：管轄の保健所（宮崎市内は県の中央保健所）

末、散剤、顆粒剤	100グラム（包）
錠剤、カプセル剤、坐剤	120個
注射剤	10アンプル（バイアル）
内用液剤	10容器
経皮吸収型製剤	10枚

* 向精神薬の譲り受けた数量、譲り渡した数量、在庫数量の把握などを適時行うことにより保管管理状況を確認し、不審な点が生じた場合には必要な調査を行ってください。

【事件事例】

診療所の窓ガラスが割られ、何者かに向精神薬が盗取された。

検査室の金庫に保管していた向精神薬の在庫を確認したところ、注射液の数が不足していた。室内を調査したが発見できず、盗難にあった可能性が高い。

病棟の薬品棚に定数保管していた注射液が所在不明となった。定数全数がなくなったことから、盗難にあった可能性が高い。

6 記録（法第50条の23）

第一種及び第二種向精神薬を譲り受け、譲り渡し（患者に交付した分を除く。）又は廃棄したときは、次の事項を記録し、2年間保存しなければなりません。

- (1) 向精神薬の品名（販売名）・数量
- (2) 年月日
- (3) 譲受又は譲渡の相手方の営業所等の名称・所在地

【具体的な記録の方法例】

次のいずれかの方法により行ってください。

帳簿を用意し、上記事項を記録する。

伝票をつづる。ただし、伝票に上記事項が記載されている必要があります。

また、他の伝票とは別につづってください。

* 患者へ向精神薬を交付したとき又は施用したとき、患者から向精神薬の返却を受けたとき又は返却を受けたものを廃棄したときは、記録の必要はありません。

* 同一法人の病院・診療所との間で譲受又は譲渡があった場合には、記録する必要

があります。

* 譲受又は譲渡の相手方の本社の名称・所在地ではなく、営業所の名称・所在地を記録してください。

【帳簿記載例】(第一種及び第二種向精神薬)

品名	ソセゴン注射液 15mg		単位	A
年月日	数量	譲受・譲渡・廃棄の別	譲受又は譲渡した相手方の営業所の名称・所在地	
22.1.21	10	廃棄	陳旧化のため	
22.1.26	50	譲受	(株) 薬品日南営業所 日南市大字戸高 - -	

〔第一種及び第二種向精神薬で市販されているもの〕

種別	一般的名称	医薬品の販売名
第一種	セコバルビタール	アイオナルナトリウム注射用
	メチルフェニデート	リタリン散・錠 / コンサータ錠
	モダフィニル	モディオダール錠
第二種	アモバルビタール	イソミタール原末
	ブプレノルフィン	レペタン注・坐剤 / ザルバン注
	フルニトラゼパム	サイレース錠・静注 / ロヒプノール錠・静注用 ビビットエース錠 / フルトラース錠 フルニトラゼパム錠
	ペントゾシン	ソセゴン錠・注射液 / ペンタジン錠・注射液 ペルタゾン錠 / トスパリール注 / ヘキサット注
	ペントバルビタール	ラボナ錠・注

7 立入検査(法第50条の38)

(1) 立入検査の目的

立入検査は、向精神薬による事故の未然防止等の目的で行われるものであり、犯罪捜査のために行うものではありません。

(2) 立入検査証の確認

立入検査を行う職員は、その身分を示す証票を携帯していますので、必ず提示を求め、確認してください。

8 携帯輸入、携帯輸出（法第50条の8、第50条の11）

原則として向精神薬を輸出又は輸入することはできません。

ただし、患者は、自己の疾病の治療の目的で1か月分以内の量の向精神薬（注射剤を除く。）を携帯して出国又は入国することができます。

なお、処方せんの写し又は患者の氏名及び住所並びに携帯する向精神薬の品名及び数量を記載した医師の証明書があれば、1か月分の量を超える数量や注射剤も携帯して出入国することができます。

* 出国の場合は、持ち込めるか相手国の法規制を御確認ください。

9 塩酸メチルフェニデート製剤の流通管理

塩酸メチルフェニデート製剤（販売名：リタリン錠及び1%同散（以下、「リタリン」という。）、コンサータ錠18mg及び同錠27mg（以下、「コンサータ」という。）については、厚生労働省が薬事法第79条に基づく承認条件を付し、各製造販売業者に適正な流通管理の実施を義務付けました。

（参考：承認条件）

本剤の投与が、リタリンにあつては、ナルコレプシー（コンサータにあつては注意欠陥/多動性障害）の診断、治療に精通し、薬物依存を含む本剤のリスク等についても十分に管理できる医師・医療機関・管理薬剤師のいる薬局のもとでのみ行われるとともに、それら薬局においては、調剤前に当該医師・医療機関を確認した上で調剤がなされるよう、製造販売にあたって必要な措置を講じること。

(1) リタリン及びコンサータの流通管理の基本（通知に基づく）

有識者（医師・薬剤師・法律の専門家等）からなる第三者委員会を設置。

医師・医療機関・薬局ごとに適正使用がなされるか否か同委員会で検討し、リスト化。

販売は、リスト化された医師・医療機関・薬局に限定。

薬局は調剤前に処方せん発行医師・医療機関がリストに掲示されているか確認。リストに無い場合は、調剤を拒否して、製造販売業者へ連絡。

(2) 塩酸メチルフェニデート製剤を取り扱う場合

医師、医療機関が塩酸メチルフェニデート製剤を取り扱う場合は、あらかじめ、流通管理委員会（下記参照）に申請し、登録を受ける必要があります。登録を受けた医療機関でなければこの製剤の供給が受けられません。

流通管理基準や申請手続き等については、下記ホームページに掲載されています。

リタリンを取り扱う場合（リタリン流通管理委員会事務局ホームページ）

<http://www.novartis.co.jp/ritalin/index.html>

コンサータを取り扱う場合（コンサータ錠適正流通管理委員会ホームページ）

<http://www.ad-hd.jp/>

(3) 適正使用に係る留意事項

リタリン又はコンサータの使用にあたっては、その効能効果、用法用量、添付文書の使用上の注意等を踏まえ、リタリンにあたってはナルコレプシー、コンサータにあたっては注意欠陥/多動性障害の適切な診断等を行った上で適正に処方等を行ってください。

特に薬物依存の発現について十分なリスク管理を行ってください。

〔対象となる製剤一覧〕

一般的名称	医薬品の販売名 (製造販売業者名)	効能効果
塩酸メチルフェニデート (第一種向精神薬)	リタリン錠 1%リタリン散 (ノバルティスファーマ株式会社)	ナルコレプシー
	コンサータ錠18mg コンサータ錠27mg (ヤンセンファーマ株式会社)	小児期における注意欠陥 /多動性障害(AD/HD)

【根拠通知】

「塩酸メチルフェニデート製剤の使用にあたっての留意事項について」

(平成19年10月26日付け厚生労働省医薬食品局総務課長、審査管理課長、安全対策課長、監視指導・麻薬対策課長通知)

向精神薬一覧

(平成22年1月現在)

	物質名	薬理作用		物質名	薬理作用
第一種	ジベプロール	鎮咳	第三種	デロラゼパム	中枢抑制
	セコバルビタール	中枢抑制		トリアゾラム	中枢抑制
	フェネチリン	中枢興奮		ニトラゼパム	中枢抑制
	フェンメトラジン	中枢興奮		ニメタゼパム	中枢抑制
	メクロカロン	中枢抑制		ノルダゼパム	中枢抑制
	メタカロン	中枢抑制		ハラゼパム	中枢抑制
	メチルフェニデート	中枢興奮		バルビタール	中枢抑制
	モダフィニル	中枢興奮		ハロキサゾラム	中枢抑制
第二種	アモバルビタール	中枢抑制	第三種	ピナゼパム	中枢抑制
	カチン	中枢興奮		ビニルビタール	中枢抑制
	グルテチミド	中枢抑制		ピプラドロール	中枢興奮
	シクロバルビタール	中枢抑制		ピロバレロン	中枢興奮
	ブタルビタール	中枢抑制		フェノバルビタール	中枢抑制
	ブプレノルフィン	鎮痛		フェンカンファミン	中枢興奮
	フルニトラゼパム	中枢抑制		フェンジメトラジン	中枢興奮
	ペンタゾシン	鎮痛		フェンテルミン	中枢興奮
第三種	ペントバルビタール	中枢抑制	第三種	フェンプロボレクス	中枢興奮
	アミノレクス	中枢興奮		ブトバルビタール	中枢抑制
	アルプラゾラム	中枢抑制		プラゼパム	中枢抑制
	アロバルビタール	中枢抑制		フルジアゼパム	中枢抑制
	アンフェプラモン	中枢興奮		フルラゼパム	中枢抑制
	エスクロルビノール	中枢抑制		プロチゾラム	中枢抑制
	エスタゾラム	中枢抑制		プロピルヘキセドリン	中枢興奮
	エチナメート	中枢抑制		プロマゼパム	中枢抑制
第三種	エチランフェタミン	中枢興奮	第三種	ペモリン	中枢興奮
	オキサゼパム	中枢抑制		ベンツフェタミン	中枢興奮
	オキサゾラム	中枢抑制		マジンドール	食欲抑制
	カマゼパム	中枢抑制		ミダゾラム	中枢抑制
	クアゼパム	中枢抑制		メソカルブ	中枢興奮
	クロキサゾラム	中枢抑制		メダゼパム	中枢抑制
	クロチアゼパム	中枢抑制		メチプリロン	中枢抑制
	クロナゼパム	抗てんかん		メチルフェノバルビタール	中枢抑制
	クロバザム	抗てんかん		メフェノレクス	中枢興奮
	クロラゼブ酸	中枢抑制		メプロバメート	中枢抑制
	クオルジアゼポキシド	中枢抑制		レフェタミン	鎮痛
	ケタゾラム	中枢抑制		ロフラゼブ酸エチル	中枢抑制
	ジアゼパム	中枢抑制		ロプラゾラム	中枢抑制
	セクブタバルビタール	中枢抑制		ロラゼパム	中枢抑制
	ゾルピデム	中枢抑制		ロルメタゼパム	中枢抑制
	テトラゼパム	中枢抑制			
テマゼパム	中枢抑制				

注1) それぞれの物質の塩類及びそれらを含むものを含む。

注2) 印は、我が国で医薬品として流通しているものを示す。

向精神薬成分名（商品名：例示）一覧表

（平成22年1月現在）

第一種向精神薬で市販されているもの

物 質 名	商 品 名
セコバルピタールナトリウム	注射用アイオナール・ナトリウム（0.2）（日医工）
塩酸メチルフェニデート	コンサータ錠18mg・錠27mg（ヤンセンファーマ） リタリン錠10mg・散1%（ノバルティスファーマ）
モダフィニル	モディオダール錠100mg（アルフレッサファーマ - 田辺三菱）

第二種向精神薬で市販されているもの

物 質 名	商 品 名
アモバルピタール	イソミタール原末（日本新薬）
塩酸ブプレノルフィン	ザルバン注0.2mg・注0.3mg（日新） レベタン注0.2mg・注0.3mg・坐剤0.2mg・坐剤0.4mg（大塚）
フルニトラゼパム	サイレース錠1mg・錠2mg・静注2mg（エーザイ） ビビットエース錠1mg・錠2mg（辰巳化学 - 日本ジェネリック） フルトラース錠1mg（シオノケミカル） フルニトラゼパム錠1mg「アメル」、錠2mg「アメル」（共和薬品） ロヒブノール錠1・錠2・静注用2mg（中外）
ペンタゾシン	ソセゴン錠25mg・注射液15mg・注射液30mg（アステラス） トスパリール注15・注30mg（小林化工） ヘキサット注15mg（メルク） ペルタゾン錠25（あすか - 日本化薬） ペンタジン錠25・注射液15・注射液30（第一三共）
ペントバルピタールカルシウム	ラボナ錠50mg（田辺三菱）

第三種向精神薬で市販されているもの

物 質 名	商 品 名
アルプラゾラム	アゾリタン錠0.4（大洋薬品） アルプラゾラム錠0.4mg「トーワ」（東和薬品） カムダン錠0.4mg（共和薬品） コンスタン0.4mg錠・0.8mg錠（武田薬品） ソラナックス0.4mg錠・0.8mg錠（ファイザー） メデボリン錠0.4（メディサ新薬 - 沢井）
アロバルピタールの配合剤	ザルソカイン注10mL（宇治 - 共和薬品）
エスタゾラム	エスタゾラム錠1mg「アメル」、錠2mg「アメル」（共和薬品・日医工） ユーロジン散1%・1mg錠・2mg錠（武田薬品）

物 質 名	商 品 名
オキサゾラム	セレナール散10%・錠5・錠10(第一三共) トッカータ錠10mg(共和薬品) ネブスン散10%・錠10mg(辰巳化学) ベルサー錠10mg・錠20mg・細粒10%(イセイ)
クアゼパム	クアゼパム錠15mg「アメル」・錠20mg「アメル」(共和薬品) クアゼパム錠15mg「MNP」・錠20mg「MNP」(日新・明治製菓) クアゼパム錠15mg「サワイ」・錠20mg「サワイ」(沢井) クアゼパム錠15mg「トーワ」・錠20mg「トーワ」(東和薬品) クアゼパム錠15mg「日医工」・錠20mg「日医工」(日医工) クアゼパム錠15mg「YD」・錠20mg「YD」(陽進堂・日本ジェネリック) ドラル錠15・錠20(久光・田辺三菱)
クロキサゾラム	セバゾン散1%・錠1・錠2(第一三共)
クロチアゼパム	イソクリン糖衣錠5(沢井) クロチアゼパム錠5mg「トーワ」(東和薬品) ナオリーゼ錠5mg(鶴原) ニラタック錠5mg(大正薬品) リーゼ顆粒10%・錠5mg・錠10mg(田辺三菱) リリフター錠5(日医工ファーマ・日医工) リルミン錠5(大洋薬品)
クロナゼパム	ランドセン細粒0.1%・細粒0.5%・錠0.5mg・錠1mg・錠2mg (大日本住友) リボトリール細粒0.1%・細粒0.5%・錠0.5mg・錠1mg・錠2mg (中外)
クロバザム	マイスタン錠5mg・錠10mg・細粒1%(大日本住友・アルフレッサファーマ)
クロラゼブ酸ニカリウム	メンドン7.5mg・カプセル7.5mg(アボットジャパン)
ジアゼパム	ジアゼパム散1%「アメル」・錠2mg「アメル」・錠5mg「アメル」 (共和薬品) ジアゼパム錠2「サワイ」(沢井) ジアゼパム錠2「トーワ」・錠5「トーワ」(東和製品) ジアゼパム注射液10mg「タイヨー」(大洋薬品) ジアパックス錠2mg・錠5mg(大鵬薬品) セルカム錠2・錠5・錠10(鶴原) セルシン散1%・シロップ0.1%・注射液5mg・注射液10mg、 2mg・5mg・10mgセルシン錠(武田薬品) セレナミン錠2mg・錠5mg(旭化成ファーマ) ダイアップ坐剤4・坐剤6・坐剤10(和光堂) パールキット散1%・錠2mg・錠5mg(ニプロファーマ) ホリゾン散1%・錠2mg・錠5mg・注射液10mg(アステラス) リリーゼン散1%・錠2mg(日医工ファーマ・日医工) リリバー散1%(マイラン)

物 質 名	商 品 名
クロルジアゼポキシド	コンスーン散1%・錠5・錠10(鶴原) コントロール散1%・散10%、5mg・10mgコントロール錠(武田薬品) バランス散10%・錠5mg・錠10mg(アステラス) リサーチーフ散10%(キョーリンリメディオ)
ゾルピデム	マイスリー錠5mg・錠10mg(アステラス)
トリアゾラム	アサシオン0.25mg錠(長生堂-日本ケミファ) アスコマーナ錠0.25(日新) カムリトン錠0.25mg(寿) トリアゾラム錠0.125mg「EMEC」(サンノ-パ-エルメッドエ-ザイ) トリアゾラム錠0.25mg「TSU」(鶴原) トリアラム錠0.25mg(小林化工) ネスゲン錠「0.25」(辰巳化学-マイラン) ハルシオン0.125mg錠・0.25mg錠(ファイザー) ハルラック錠0.125mg・錠0.25mg(富士薬品-共和薬品) バルレオン錠0.125mg・錠0.25mg(大洋薬品-日本ジェネリック) ミンザイン錠0.125mg・錠0.25mg(日医工)
ニトラゼパム	チスポン錠5・錠10(鶴原) ニトラゼパム錠5mg「トーワ」(東和薬品) ネルボン散1%・錠5mg・錠10mg(第一三共) ネルロレン錠「5」・錠「10」(辰巳化学-日本ジェネリック) ネルロレン細粒1%(辰巳化学) ノイクロニック錠5(大洋薬品) ヒルスカミン錠5mg(イセイ) ベンザリン細粒1%・錠2・錠5・錠10(塩野義)
ニメタゼパム	エリミン錠3mg・錠5mg(大日本住友)
バルピタール	バルピタール「エビス」(エビス-吉田) バルピタール「ホエイ」(マイラン)
ハロキサゾラム	ソメリン細粒1%・錠5mg・錠10mg(第一三共)
フェノバルピタール	フェノバルピタールシオエ、散10%「シオエ」(シオエ-日本新薬) フェノバル末・散10%・錠30mg・エリキシル0.4%・注射液100mg (藤永-第一三共) フェノバルピタール「エビス」(エビス-吉田) フェノバルピタール散10%「エビス」(エビス) フェノバルピタール散10%「マルイシ」(丸石) フェノバルピタール散10%「ヒシヤマ」(ニプロファーマ) フェノバルピタール「ホエイ」・散10%「ホエイ」(マイラン) フェノバルピタール散10%「JG」(日本ジェネリック)

物 質 名	商 品 名
フェノバルビタールナトリウム	10%フェノバルビタール注「ノーベル」(ノーベル - 日医工) ノーベルパール静注用250mg(ノーベル - アルフレッサファーマ) ルビアール坐剤25・坐剤50・坐剤100(久光) ワコビタール坐剤15・坐剤30・坐剤50・坐剤100(和光堂)
フェノバルビタールの配合剤	アストモリジン配合胃溶錠・配合腸溶錠(マルホ) トランコロンP配合錠(アステラス) ヒダントールD配合錠・E配合錠・F配合錠(藤永 - 第一三共) 複合アレピアチン配合錠(大日本住友) ベゲタミン錠 - A配合錠・ - B配合錠(塩野義)
プラゼパム	セダブランコーワ細粒1%・錠5・錠10(興和 - 興和創薬)
フルジアゼパム	エリスパン細粒0.1%・錠0.25mg(大日本住友)
フルラゼパム	ダルメートカプセル15(共和薬品) ネルガート15(鶴原) ベノジールカプセル10・カプセル15(協和発酵キリン)
プロチゾラム	アムネゾン錠0.25mg(日新) グッドミン錠0.25mg(田辺三菱) ゼストロミン錠0.25mg(東和薬品) ソレントミン錠0.25mg(大正薬品 - マイラン) ネストローム錠0.25mg(辰巳化学) ノクスター錠0.25mg(アルフレッサファーマ) プロゾーム錠0.25mg(ニプロファーマ) プロチゾラム錠0.25mg「CH」(長生堂 - 田辺三菱) プロチゾラム錠0.25mg「YD」(陽進堂) プロチゾラム錠0.25mg「タイヨー」・OD錠0.25mg「タイヨー」 (大洋薬品) プロチゾラムM錠0.25「EMEC」(サンノバ・エルメッドエーザイ) プロチゾラン錠0.25mg(日医工) プロメトン錠0.25mg(マイラン) ユリモラン錠(長生堂) レドルパー錠0.25mg(大原薬品 - 旭化成ファーマ) レンデム錠0.25mg・D錠0.25mg(メディサ新薬 - 沢井) レンドルミン錠0.25mg・D錠0.25mg(日本ベーリンガー) ロンフルマン錠0.25mg(共和薬品)
プロマゼパム	セニラン細粒1%・錠2mg・錠5mg(サンド - 日本ジェネリック) セニラン錠3mg・坐剤3mg(サンド) レキサタン細粒1%・錠1・錠2・錠5(中外 - エーザイ)
ペモリン	ベタナミン錠10mg・錠25mg・錠50mg(三和化学)
マジンドール	サノレックス錠0.5mg(ノバルティスファーマ)

物 質 名	商 品 名
ミダゾラム	ドルミカム注射液10mg (アステラス) ミタゾラム注10mg「サンド」(サンド - 富士製薬) ミタゾラム注射液10mg「タイヨー」(大洋薬品)
メダゼパム	メダゼパム錠2 (ツルハラ)・錠5 (ツルハラ)(鶴原) レスミット錠2・錠5 (塩野義)
ロフラゼプ酸エチル	アズトレム錠1mg・錠2mg (高田) ジメトックス錠1・錠2 (日医工ファーマ - 三和化学) スカルナーゼ錠1mg・錠2mg (東和薬品) メイラックス細粒1%・錠1mg・錠2mg (明治製菓) メデタックス錠1・錠2 (メディサ新薬 - 沢井) ロンラックス錠1mg・錠2mg (シオノケミカル - マイラン)
ロラゼパム	アズロゲン錠0.5・錠1.0 (高田) ユーバン錠0.5mg・錠1.0mg (沢井) ワイパックス錠0.5・錠1.0 (ワイス - 武田薬品)
ロルメタゼパム	エバミール錠1.0 (バイエル薬品) ロラメット錠1.0 (ワイス - あすか)

動物用医薬品 (第二種向精神薬)

物 質 名	商 品 名
ペントバルビタールナトリウム	ソムノペンチル (共立薬品)

会社名の表記

(A) A社 製造販売業者

(A - B) A社 製造販売業者、
B社 販売元、発売元等

向精神薬商品名一覧表（アイウエオ順）

（平成22年1月現在）

ア行

商品名（会社名）	物質名	種別
アサシオン0.25mg錠（長生堂 - 日本ケミファ）	トリアゾラム	第三種
アスコマーナ錠0.25（日新）	トリアゾラム	第三種
アストモリジン配合胃溶錠・配合腸溶錠（マルホ）	フェノバルビタールの配合剤	第三種
アズトレム錠1mg・錠2mg（高田）	ロフラゼブ酸エチル	第三種
アズロゲン錠0.5・錠1.0（高田）	ロラゼパム	第三種
アゾリタン錠0.4（大洋薬品）	アルプラゾラム	第三種
アムネゾン錠0.25mg（日新）	プロチゾラム	第三種
アルプラゾラム錠0.4mg「トーワ」（東和薬品）	アルプラゾラム	第三種
イソクリン糖衣錠5（沢井）	クロチアゼパム	第三種
イソミタール原末（日本新薬）	アモバルビタール	第二種
エスタゾラム錠1mg「アメル」・錠2mg「アメル」 （共和薬品 - 日医工）	エスタゾラム	第三種
エバミール錠1.0（バイエル薬品）	ロルメタゼパム	第三種
エリスパン細粒0.1%・錠0.25mg（大日本住友）	フルジアゼパム	第三種
エリミン錠3mg・錠5mg（大日本住友）	ニメタゼパム	第三種

カ行

商品名（会社名）	物質名	種別
カームダン錠0.4mg（共和薬品）	アルプラゾラム	第三種
カムリトン錠0.25mg（寿）	トリアゾラム	第三種
クアゼパム錠15mg「MNP」・錠20mg「MNP」 （日新 - 明治製菓）	クアゼパム	第三種
クアゼパム錠15mg「YD」・錠20mg「YD」 （陽進堂 - 日本ジェネリック）	クアゼパム	第三種
クアゼパム錠15mg「アメル」・錠20mg「アメル」 （共和薬品）	クアゼパム	第三種
クアゼパム錠15mg「サワイ」・錠20mg「サワイ」 （沢井）	クアゼパム	第三種
クアゼパム錠15mg「トーワ」・錠20mg「トーワ」 （東和薬品）	クアゼパム	第三種
クアゼパム錠15mg「日医工」・錠20mg「日医工」 （日医工）	クアゼパム	第三種
グッドミン錠0.25mg（田辺三菱）	プロチゾラム	第三種
クロチアゼパム錠5mg「トーワ」（東和薬品）	クロチアゼパム	第三種
コンサータ錠18mg・錠27mg（ヤンセンファーマ）	塩酸メチルフェニデート	第一種
コンスーン散1%・錠5・錠10（鶴原）	クロルジアゼポキシド	第三種
コンスタン0.4mg錠・0.8mg錠（武田薬品）	アルプラゾラム	第三種
コントロール散1%・散10%、5mg・10mg コントロール錠 （武田薬品）	クロルジアゼポキシド	第三種

サ行

商品名（会社名）	物質名	種別
サイレース錠1mg・錠2mg・静注2mg（エーザイ）	フルニトラゼパム	第二種
サノレックス錠0.5mg（ノバルティスファーマ）	マジンドール	第三種
ザルソカイン注10mL（宇治 - 共和薬品）	アロバルピタールの配合剤	第三種
ザルバン注0.2mg・注0.3mg（日新）	塩酸ブプレノルフィン	第二種
ジアゼパム散1%「アメル」・錠2mg「アメル」・錠5mg「アメル」（共和薬品）	ジアゼパム	第三種
ジアゼパム錠2「サワイ」（沢井）	ジアゼパム	第三種
ジアゼパム錠2「トーワ」・錠5「トーワ」（東和製品）	ジアゼパム	第三種
ジアゼパム注射液10mg「タイヨー」（大洋薬品）	ジアゼパム	第三種
ジアックス錠2mg・錠5mg（大鵬薬品）	ジアゼパム	第三種
ジメトックス錠1・錠2（日医工ファーマ - 三和化学）	ロフラゼブ酸エチル	第三種
10%フェノバルピタール注「ノーベル」（ノーベル - 日医工）	フェノバルピタールナトリウム	第三種
スカルナーゼ錠1mg・錠2mg（東和薬品）	ロフラゼブ酸エチル	第三種
セエルカム錠2・錠5・錠10（鶴原）	ジアゼパム	第三種
ゼストロミン錠0.25mg（東和薬品）	プロチゾラム	第三種
セダブランコーワ細粒1%・錠5・錠10（興和 - 興和創薬）	プラゼパム	第三種
セニラン細粒1%・錠2mg・錠5mg（サンド - 日本ジエリック） セニラン錠3mg・坐剤3mg（サンド）	ブロマゼパム	第三種
セバゾン散1%・錠1・錠2（第一三共）	クロキサゾラム	第三種
セルシン散1%・シロップ0.1%・注射液5mg・注射液10mg、2mg・5mg・10mg セルシン錠（武田薬品）	ジアゼパム	第三種
セレナール散10%・錠5・錠10（第一三共）	オキサゾラム	第三種
セレナミン錠2mg・錠5mg（旭化成ファーマ）	ジアゼパム	第三種
ソセゴン錠25mg・注射液15mg・注射液30mg（アステラス）	ペンタゾシン	第二種
ソメリン細粒1%・錠5mg・錠10mg（第一三共）	ハロキサゾラム	第三種
ソラナックス0.4mg錠・0.8mg錠（ファイザー）	アルプラゾラム	第三種
ソレントミン錠0.25mg（大正薬品 - マイラン）	プロチゾラム	第三種

タ行

商品名（会社名）	物質名	種別
ダイアアップ坐剤4・坐剤6・坐剤10（和光堂）	ジアゼパム	第三種
ダルメートカプセル15（共和薬品）	フルラゼパム	第三種
チスポン錠5・錠10（鶴原）	ニトラゼパム	第三種
注射用アイオナル・ナトリウム（0.2）（日医工）	セコバルピタールナトリウム	第一種
トスパリール注15・注30mg（小林化工）	ペンタゾシン	第二種
トッカータ錠10mg（共和薬品）	オキサゾラム	第三種
ドラール錠15・錠20（久光 - 田辺三菱）	クアゼパム	第三種

タ行

トランコロン P 配合錠 (アステラス)	フェノバルビタールの配合剤	第三種
トリアゾラム錠0.125mg「EMEC」 (サンノーバ - エルメッドエーザイ)	トリアゾラム	第三種
トリアゾラム錠0.25mg「TSU」(鶴原)	トリアゾラム	第三種
トリアラム錠0.25mg (小林化工)	トリアゾラム	第三種
ドルミカム注射液10mg (アステラス)	ミダゾラム	第三種

ナ行

商品名 (会社名)	物質名	種別
ナオリーゼ錠5mg (鶴原)	クロチアゼパム	第三種
ニトラゼパム錠5mg「トーフ」(東和薬品)	ニトラゼパム	第三種
ニラタック錠5mg (大正薬品)	クロチアゼパム	第三種
ネスゲン錠「0.25」(辰巳化学 - マイラン)	トリアゾラム	第三種
ネストローム錠0.25mg (辰巳化学)	プロチゾラム	第三種
ネブスン散10%・錠10mg (辰巳化学)	オキサゾラム	第三種
ネルガート15 (鶴原)	フルラゼパム	第三種
ネルボン散1%・錠5mg・錠10mg (第一三共)	ニトラゼパム	第三種
ネルロレン細粒1% (辰巳化学)	ニトラゼパム	第三種
ネルロレン錠「5」・錠「10」 (辰巳化学 - 日本ジェネリック)	ニトラゼパム	第三種
ノイクロニック錠5 (大洋薬品)	ニトラゼパム	第三種
ノーベルパール静注用250mg (ノーベル - アルフレッサファーマ)	フェノバルビタールナトリウム	第三種
ノクスター錠0.25mg (アルフレッサファーマ)	プロチゾラム	第三種

ハ行

商品名 (会社名)	物質名	種別
パールキット散1%・錠2mg・錠5mg(ニプロファーマ)	ジアゼパム	第三種
バランス散10%・錠5mg・錠10mg (アステラス)	クロルジアゼポキシド	第三種
ハルシオン0.125mg 錠・0.25mg 錠 (ファイザー)	トリアゾラム	第三種
バルビタール「エビス」(エビス - 吉田)	バルビタール	第三種
バルビタール「ホエイ」(マイラン)	バルビタール	第三種
ハルラック錠0.125mg・錠0.25mg (富士薬品 - 共和薬品)	トリアゾラム	第三種
バルレオン錠0.125mg・錠0.25mg (大洋薬品 - 日本ジェネリック)	トリアゾラム	第三種
ヒダントールD 配合錠・E 配合錠・F 配合錠 (藤永 - 第一三共)	フェノバルビタールの配合剤	第三種
ビビットエース錠1mg・錠2mg (辰巳化学 - 日本ジェネリック)	フルニトラゼパム	第二種
ヒルスカミン錠5mg (イセイ)	ニトラゼパム	第三種

八行

商品名(会社名)	物質名	種別
フェノバル末・散10%・錠30mg・エリキシル0.4% ・注射液100mg(藤永-第一三共)	フェノバルピタール	第三種
フェノバルピタール「エビス」(エビス-吉田)	フェノバルピタール	第三種
フェノバルピタール「ホエイ」・散10%「ホエイ」 (マイラン)	フェノバルピタール	第三種
フェノバルピタールシオエ、散10%「シオエ」 (シオエ-日本新薬)	フェノバルピタール	第三種
フェノバルピタール散10%「JG」 (日本ジェネリック)	フェノバルピタール	第三種
フェノバルピタール散10%「エビス」(エビス)	フェノバルピタール	第三種
フェノバルピタール散10%「ヒシヤマ」 (ニプロファーマ)	フェノバルピタール	第三種
フェノバルピタール散10%「マルイシ」(丸石)	フェノバルピタール	第三種
複合アレピアチン配合錠(大日本住友)	フェノバルピタールの配合剤	第三種
フルトラス錠1mg(シオノケミカル)	フルニトラゼパム	第二種
フルニトラゼパム錠1mg「アメル」・錠2mg「アメル」 (共和薬品)	フルニトラゼパム	第二種
プロゾム錠0.25mg(ニプロファーマ)	プロチゾラム	第三種
プロチゾラムM錠0.25「EMEC」 (サンノーバ-エルメッドエーザイ)	プロチゾラム	第三種
プロチゾラム錠0.25mg「CH」(長生堂-田辺三菱)	プロチゾラム	第三種
プロチゾラム錠0.25mg「YD」(陽進堂)	プロチゾラム	第三種
プロチゾラム錠0.25mg「タイヨー」・OD錠0.25mg 「タイヨー」(大洋薬品)	プロチゾラム	第三種
プロチゾラン錠0.25mg(日医工)	プロチゾラム	第三種
プロメトン錠0.25mg(マイラン)	プロチゾラム	第三種
ヘキサット注15mg(メルク)	ペンタゾシン	第二種
ベゲタミン錠-A配合錠・-B配合錠(塩野義)	フェノバルピタールの配合剤	第三種
ベタナミン錠10mg・錠25mg・錠50mg(三和化学)	ペモリン	第三種
ベノジールカプセル10・カプセル15 (協和発酵キリン)	フルラゼパム	第三種
ペルサール錠10mg・錠20mg・細粒10%(イセイ)	オキサゾラム	第三種
ペルタゾン錠25(あすか-日本化薬)	ペンタゾシン	第二種
ベンザリン細粒1%・錠2・錠5・錠10(塩野義)	ニトラゼパム	第三種
ペンタジン錠25・注射液15・注射液30(第一三共)	ペンタゾシン	第二種
ホリゾン散1%・錠2mg・錠5mg・注射液10mg (アステラス)	ジアゼパム	第三種

マ行

商品名(会社名)	物質名	種別
マイスタン錠5mg・錠10mg・細粒1% (大日本住友 - アルフレッサファーマ)	クロバザム	第三種
マイスリー錠5mg・錠10mg(アステラス)	ゾルピデム	第三種
ミタゾラム注10mg「サンド」(サンド - 富士製薬)	ミダゾラム	第三種
ミタゾラム注射液10mg「タイヨー」(大洋薬品)	ミダゾラム	第三種
ミンザイン錠0.125mg・錠0.25mg(日医工)	トリアゾラム	第三種
メイラックス細粒1%・錠1mg・錠2mg(明治製菓)	ロフラゼブ酸エチル	第三種
メダゼパム錠2(ツルハラ)・錠5(ツルハラ)(鶴原)	メダゼパム	第三種
メデタックス錠1・錠2(メディサ新薬 - 沢井)	ロフラゼブ酸エチル	第三種
メデポリン錠0.4(メディサ新薬 - 沢井)	アルプラゾラム	第三種
メンドン7.5mg・カプセル7.5mg(アポットジャパン)	クロラゼブ酸二カリウム	第三種
モディオダール錠100mg (アルフレッサファーマ - 田辺三菱)	モダフィニル	第一種

ヤ行

商品名(会社名)	物質名	種別
ユーバン錠0.5mg・錠1.0mg(沢井)	ロラゼパム	第三種
ユーロジン散1%・1mg錠・2mg錠(武田薬品)	エスタゾラム	第三種
ユリモラン錠(長生堂)	プロチゾラム	第三種

ラ行

商品名(会社名)	物質名	種別
ラボナ錠50mg(田辺三菱)	ペントバルビタールカルシウム	第二種
ランドセン細粒0.1%・細粒0.5%・錠0.5mg・錠1mg ・錠2mg(大日本住友)	クロナゼパム	第三種
リーゼ顆粒10%・錠5mg・錠10mg(田辺三菱)	クロチアゼパム	第三種
リサーチフ散10%(キョーリンリメディオ)	クロルジアゼポキシド	第三種
リタリン錠10mg、リタリン散1% (ノバルティスファーマ)	塩酸メチルフェニデート	第一種
リボトリール細粒0.1%・細粒0.5%・錠0.5mg・錠1mg g・錠2mg(中外)	クロナゼパム	第三種
リリーゼン散1%・錠2mg(日医工ファーマ - 日医工)	ジアゼパム	第三種
リリバー散1%(マイラン)	ジアゼパム	第三種
リリフター錠5(日医工ファーマ - 日医工)	クロチアゼパム	第三種
リルミン錠5(大洋薬品)	クロチアゼパム	第三種
ルピアール坐剤25・坐剤50・坐剤100(久光)	フェノバルビタールナトリウム	第三種
レキソタン細粒1%・錠1・錠2・錠5 (中外 - エーザイ)	プロマゼパム	第三種
レスミット錠2・錠5(塩野義)	メダゼパム	第三種
レドルパー錠0.25mg(大原薬品 - 旭化成ファーマ)	プロチゾラム	第三種

商品名（会社名）	物質名	種別
レベタン注0.2mg・注0.3mg・坐剤0.2mg・坐剤0.4mg （大塚）	塩酸ブプレノルフィン	第二種
レンデム錠0.25mg・D錠0.25mg （メディサ新薬 - 沢井）	プロチゾラム	第三種
レンドルミン錠0.25mg・D錠0.25mg （日本ベーリンガー）	プロチゾラム	第三種
ロヒブノール錠1・錠2・静注用2mg（中外）	フルニトラゼパム	第二種
ロラメット錠1.0（ワイス - あすか）	ロルメタゼパム	第三種
ロンフルマン錠0.25mg（共和薬品）	プロチゾラム	第三種
ロンラックス錠1mg・錠2mg （シオノケミカル - マイラン）	ロフラゼプ酸エチル	第三種

ワ行

商品名（会社名）	物質名	種別
ワイパックス錠0.5・錠1.0（ワイス - 武田薬品）	ロラゼパム	第三種
ワコビタール坐剤15・坐剤30・坐剤50・坐剤100 （和光堂）	フェノバルビタールナトリウム	第三種

会社名の表記

- （ A ） A 社 製造販売業者
- （ A - B ） A 社 製造販売業者、
B 社 販売元、発売元等

向精神薬事故届

免許(登録)の番号	第	号	免許(登録)年月日	平成	年	月	日
免許の種類							
向精神薬営業 所、向精神薬 試験研究施設 又は病院等	所在地						
	名称						
事故が生じた向精神薬			品 名	数 量			
事故発生の状況 (事故発生年月日) (場所、事故の種類)							
<p>上記のとおり、事故が発生したので届け出ます。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">住所</p> <p style="text-align: center;">氏名</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p>宮崎県知事</p> <p style="text-align: center;">殿</p>							